

1. はじめに

僕の地元である熊本の市街地に、去年の 1 月ごろから日没前後に数千羽に及ぶ鳥の大群が現れるようになった。もともと市街地では数年前から鳥が群れをなして飛んでいたのだが、それよりもさらに数を増やし、問題となっている。冬休みに久しぶりに市街地に行ってみたら、実際に沢山の鳥が木や電線にとまっていた。そんな鳥の大群が現れた原因、鳥による被害、及び対策をまとめた。

2. 原因

去年の 1 月から現れた沢山の鳥の正体は「ミヤマガラス」だと考えられている。ミヤマガラスは中国やロシアなどのユーラシア大陸から越冬のために日本に飛んでくる渡り鳥である。

ミヤマガラスは、昼間は郊外で餌を探しているが、日没が近づくと比較的安全な市街地の木々や電線をねぐらにすると考えられている。市街地は明るいため夜行性の天敵が来ないことや、郊外よりも暖かいため、ねぐらに最適なのだろう。このミヤマガラスが問題となっている。

3. 被害

ミヤマガラスの大群のせいで熊本市民は非常に迷惑している。

1 つ目はフン害である。数千羽が大量のフンをするのだから、たまったものではないだろう。持っているバッグや帽子にフンが落ちたり、階段や手すりにフンが付いて通行人が滑ったり、看板にフンが付いて見にくくなったりと、フンだけでも様々な害をもたらされる。想像するだけで気味が悪いだろう。

2 つ目は騒音だ。ミヤマガラスの「大合唱」に住民は困惑している。外食やデートなどの目的で市街地に行く人達にとっては、「カーカー」と鳴かれるのはあまり気分は良くないだろう。

3 つ目は農作物被害である。上記の通り、ミヤマガラスは昼間に郊外で餌を探しており、畑が荒らされてしまう。市街地以外にも被害が及ぶとなると、対策が困難になってしまう。

4. 対策

鳥の大群を追い払うには猟銃や爆竹、ロケット花火などがとても効果的だろうが、流石に市街地で銃を打ったり爆音を出したりすることは出来ないだろう。ならば木を切る、タカを放ち追い払うことなどが有効となるだろう。しかし、市街地を追われた数千羽のミヤマガラスは隣の市

や町に逃げ、そこで同じような被害をもたらすことが考えられる。従って、一気に追い払うのではなく、ミヤマガラスが多くとまる木にネットをかけたり、少し市街地の照明を暗くしたりするなど、徐々にミヤマガラスの数を減らしていくことが重要だろう。

5. おわりに

今はミヤマガラスのせいで熊本市民は困っているが、今後市が対策を取ることでミヤマガラスの数が減り、市民が被害に遭わなくなることに期待したい。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

6. 参考文献

「夜の熊本市街地、カラスの糞害に憤慨 理由不明で数千羽」

http://www.asahi.com/amp/articles/ASM1Z4TJVM1ZTLVB00C.html?u_sqp=mq331AQQKAGYAa_sjPHo--C-HrABIA==

「カラスと鳥の糞について」

http://www.city.kumamoto.jp/civic_voice/cv_detail.asp?chkC=22&txtS=&pg=1&id=5301